

山行報告書

京都田辺山友会

報告者 山本

山 名	芦生の森	山行名	例会山行
ルート	佐々里峠駐車場→巨大芦生杉群→佐々里峠駐車場		
山行日	2025 年 11 月 8 日 (土)	天 候	晴れ
参加者	C L : 山本 S L : 岡本 男性 : 上野 (眞)・小泉 女性 : 米田・薮・上野 (克)・森田・河村 合計 : 9 名		

ルート概略図



コースタイム

地名		時:分	地名		時:分
佐々里峠 駐車場	着	8:55		着	
	発	9:10		発	
雷杉	着	11:17		着	
	発	11:54		発	
京大私有林	着			着	
	発			発	
雷杉	着	13:01		着	
	発	13:19		発	
佐々里峠 駐車場	着	14:44		着	
	発	12:17		発	

山行報告 コースタイム 05 : 40 距離 6.4 km のぼり 440m くだり 438m

昨年のアンケートで前々から行ってみたかった【芦生の森】と書いてみたら、案の定C L担当として年間予定にあがる（汗）。京大私有地のため入山許可が必要かつガイドツアーのため参加費が嵩むこともあって、例会として成立するか不安でしたが8名の方が申し込みくださり感謝。実は南丹市美山町が自身のいわゆる**田舎**であり年に数回訪れます。まだまだ自然が残る癒しの地ではあるのですが、奥地の芦生は集落もほとんどなく手つかずの森の自然に期待大でした。今回、天気が最高の山日和で紅葉もほぼベストシーズン。スタートすぐからガイドさんの落葉や木の実、その辺りで見かける動物などの説明を聞くと「この葉っぱいい匂い！」「お酒に漬けると美味しいんやって！」「ムササビ？モモンガ？そんなのがいるの？」「熊剥ぎ？熊〜?!」と木の実を集めたり直接木々に触れたりしながら賑やかな声で溢れる山歩きでした。幸い、今年の実山の実木は豊富だったらしく熊が里へ下りてくることも目撃情報もないそうです。

研究林内に入るといよいよ大杉群。名前がついた大杉はもちろんです名無しでも幹の太さや高さ、特に杉の幹や枝木から杉ではない樹木が根をつけ育っている……。自然って遅い。雷に打たれ燃えたであろう幹も中は焦げた跡と空洞、杉は木の表皮があればそこから水分を吸い上げて育つらしく、枝木も葉も朽ちることなく大樹の様子を見せてくれました。

馬の背のような大樹の幹にまたがり歓声を上げ、昼食に用意されたお弁当も小鮎の甘露煮に鹿肉のしぐれ煮、地鶏のから揚げに卵焼きなど全員が「美味しい！」を連呼し、大杉はもちろんのこと青空と赤や黄色の紅葉にカメラを向けることも多数あり、とにかく楽しい山歩きだったと自画自賛です(笑)参加くださった皆さま、楽しい会にしてくださりありがとうございました。ガイドさんの話では当日申し込みで散策できる地域もあるようで、熊情報がなければ自身の田舎帰りに訪れてみたいなあと思います。

ヒヤリハット なし

河村

ずっと前から行きたかった芦生の森。ツアーでしか入れないのでなかなか敷居が高く、年間予定表で予定されているのを見つけた時から心待ちにしていました。当日は絶好の山日和で道中の車からの景色も紅葉がすばらしかったです。

元アイドルと同姓同名の M さんを筆頭に 3 人の方にガイドしていただきました。唯一、最近何かと話題の熊が心配でしたが、ガイドさんからこの辺りは今年餌のどんぐりが豊作であり熊を見かけないということと、もしでたら男のガイドさんが囂になって走ってくださる(笑)と話されていたので安心して参加できました。ツアーの途中で数年前に熊が木の皮をはいだ熊剥ぎを見た時は熊の威力をみせつけられて怖かったです。そしてやっぱり熊はいるんだなと実感しました。

今回芦生杉を見に行くコースだったのですが、ガイドさんの説明がとてもわかりやすく勉強になりました。葉っぱのにおいをかいだり、食べられる実を教えてもらったり、休憩中に木に登ったり楽しい体験ができました。見に行った4本の芦生杉も森の中で静かにただずんでいて神秘的でした。樹齢1000年以上のもありどれも見上げるくらい巨木でした。また木の中が空洞になっていたり、杉から別の木が生えていたりとの木も個性的でした。見るのができて感動しました。

今回 CL の山本さんの故郷が美山ということもあり、美山の話色々聞かせてもらい楽しかったです。ツアーが終わってからも帰りに酒蔵に寄って地酒の試飲をさせてもらいました。普段お酒を飲まない私にとっては貴重な体験でした。盛りだくさんの一日で参加できて本当によかったです。ありがとうございました。



芦生最大【芦生原生杉】



これにまたがるのに大騒ぎ



9人手繋ぎでやっと周回

小泉

うひゃ〜！！楽しい。夏山以来の参加となった今回、こんなにのんびりと山行したのも入会して初めてだと思う。ガイドさんの説明が事あるごとに話されるので、かなり豊富な知識を頂いたり、木の実を食したり。また、時間があるので休憩の時に一本の馬の背中のような幹の木があり、登ろうとワイワイ言いながらクライミングの血も騒ぎ最初にクリア。その後何人かが登るが、休憩時間も終わり山行開始。帰りもそこで登ってない方が「登らんと後悔するで」言ってチャレンジ。躊躇してる方にも声がかかり、なかば強引にほぼ全員がキャッキ言いながら登った。ガイドさんが、ここでこんなに盛り上がるのは初めてだと言っていた。(笑)

自然満載の山で大杉の迫力、初めてクマ剥ぎを見て熊の破壊力に絶句。やっぱり自然はすごいわと改めて思った。最後に皆さん、楽しい一時を有難う御座いました。